

# 博物館で 再発見

第4回

## ～四日の市から～

今から約500年前の人々の暮らしは、どのようなものだったのでしょうか。

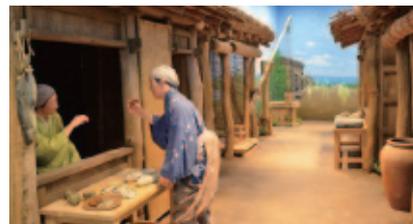
博物館常設展「時空街道」には、室町時代の「四日の市」が原寸大で再現されています。東海道と千草街道が交わる場所に開かれた市には、各地から商人が集まってきました。人々が多く行き来する道は、取引をするのに絶好の場所だったのです。

リニューアルした博物館・プラネタリウムで、私たちのまちや、私たち自身の未来について考え、このまちや自分自身を再発見する旅に出掛けましょう。

「四日の市」には屋根だけの店と板壁のある店の二種類がありますが、この違いはどこからくるのでしょうか。市を開くためには、暑い日差しや、雨を防ぐために屋根のある場所が必要です。人が住むわけではないので、屋根さえあればよいのですが、交易が盛んになり、市の日が十日に一度から五日に一度、さらには毎日となってくると、商人は市のある場所に定住するようになります。つまり、店を開きながら人が暮らす建物には壁があるのです。

見た目には少しの違いでも、その

意味するところは、社会の大きな変化です。このように、現在の私たちの便利で豊かな暮らしにたどり着くまでには、長い時間と、たくさんの人々の経験が生かされています。



問い合わせ先

博物館

(☎355-2700 FAX355-2704)

# 未来を拓く 子育て支援

第4回

## ～笑顔に出会える 子育て支援センター～

子どもの成長を誰かと共に喜んだり、子どもたちの笑顔を見て自分も自然と笑顔になったり…。子育て支援センターに出掛けて、みんなで子育てを楽しんでみませんか。

### ※子育て支援センターって？

保育園や幼稚園に通っていないお子さんとその保護者が利用できる施設です。おもちゃや絵本もあり、お子さんとの遊びを楽しむことはもち

妊娠から出産、そして乳幼児から青少年に至るまでの、子育てに関する情報や支援について紹介します。

ろん、保育士や保健師、栄養士に子育てについて気軽に相談することができます。また、絵本の読み聞かせや子育てに関する講座も受講できます。子育てを通じた仲間づくりのための出会いの場としてもご利用ください。



### ※市内の子育て支援センター

子育て支援センター専用施設のほか、保育園に併設された施設では園児と触れ合えたり、医療機関に併設された施設では子どもがかかりやす

い病気の情報を得られたりと、それぞれに特色があり、どこも無料で利用できます。市内に17カ所ありますので、市ホームページでご確認ください(『子育て支援 四日市』で検索するか、下記QRコードから)。なお、施設によって実施曜日や時間が異なりますので、各施設にお問い合わせの上、ご利用ください。



連絡先などは  
こちらから

問い合わせ先

こども未来課

(☎354-8069 FAX354-8061)

有料広告掲載欄



マスコットキャラクター「ココロくん」

LPガスと太陽光発電など  
様々なエネルギーを組み合わせ  
エコと快適を両立した  
ライフスタイルを提案します。

エネルギーと住まいの  
朝日ガスエナジー株式会社

TEL: 059-332-2311

四日市市西坂部町4789-2

URL <http://www.asahigas.co.jp>

E-mail [info@asahigas.co.jp](mailto:info@asahigas.co.jp)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。